

もの忘れ教室のご案内

認知症と診断された時…とまどいはありませんか？この病気について大切なことは、正しい知識を得ることです。テーマ・講師を3回に分けてお話をさせていただき、皆さまのお力になれるようお手伝いいたします。どのテーマからでも、何回でも参加できます。

認知症は、誰でもかかる可能性のある身近な病気です

認知症の原因となる病気

アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、血管性認知症 …など

認知症そのものによって生じる

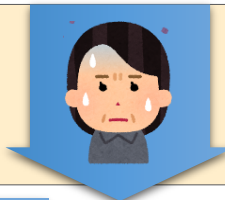
中核症状

夕食を食べたことをわすれる
言葉が出てこない
目の前にある物が何かわからない
段取りや計画が立てられない
道具の使い方がわからない …など



生活の中でのストレス・負担

心理の状態



さまざまな影響

身体状況
不適切な環境・ケア

二次的に生じる

認知症の行動・心理症状 (BPSD)

心理症状

うつ状態 意欲の低下 妄想 焦燥感 …など
行動障がい
徘徊 暴力 異食 昼夜逆転 …など

支援制度



認知症の人と家族のための福祉サービス

第2月曜・第4火曜日 12時45分～13時15分 院内会場

認知症疾患医療センター
相談員

介護保険サービスは
どうしたら利用できるの？

地域包括支援センターって
どんなところ？

介護の費用を軽減できる
制度はないのかな？

小規模多機能型生活介護って
どういうもの？



高齢者のための施設って
どんなものがあるの？

認知症の人とご家族が直面する困りごとは、医療、介護、経済、就労、社会参加、権利擁護など多岐にわたります。

ご本人とご家族が、ともに健やかにその人らしい生活を過ごしていくために、どのような時期にどのようなサービスを活用できるのかをともに学びます。

ケア



認知症のある人との関わり方

第2月曜・第4火曜日 13時15分～14時00分 院内会場

認知症看護認定看護師

どこかに出て
いってしまう



同じことを
何度も言う



やる気がなく、
何もしなくなった



認知症と診断されて、心配事や、介護の困りごとはありませんか？

教室では、認知症の基本的なかわり方についてお伝えします。

ご希望の方には、他の同じお立場のご家族との交流時間や相談時間も設けています。

医療



認知症という病気について

第2月曜・第4火曜日 14時00分～15時00分 院内会場

もの忘れ外来
担当医師

認知症はどんな病気？
アルツハイマー病とは違うの？



認知症の薬には、
どんな効果があるの？

認知症になったら、
この先どうなっていくの？



「非薬物療法」って具体的に
何をしたらいいの？



「脳トレ」や「計算ドリル」は
役に立つんですか？



外来診療の中ではわからなかったこと、診療後に気になりはじめたこと、その他の素朴な疑問など
“認知症に関する基本的なこと”について、医師がお答えいたします。

少人数の集まりですので、わからないところはお話の途中でもお尋ねいただいても大丈夫です。

お申し込み方法

当院のもの忘れ外来を受診されている方は、どなたでもご参加できます。
参加は事前申込制です。弘済院附属病院まで、ご連絡ください。

大阪市立弘済院附属病院 06-6871-8013